



ふくもっちゃんの部屋 ～電子図書館～

電子図書館では、インターネット上で、お持ちのパソコン・スマートフォン・タブレット端末などから電子書籍を借りて読むことができます。(通信料は利用者負担です)

★利用できる方

・福島市内にお住まいの方／福島市外にお住まいで福島市内に在勤・在学されている方

★貸出点数と期間

・貸出点数:2点まで
・貸出期間:14日間。次に予約がない場合のみ、貸出延長が1回(14日間)可能。

★使い方

- ①福島市電子図書館サイトにアクセスする
(<https://web.d-library.jp/fukushima/g0101/top/>)
- ②ログイン(「利用者ID」=貸出券番号、「パスワード」=インターネットサービスのパスワードを入力)し、読みたい資料を検索する
- ③「借りる」ボタンを押して手続き完了。返却時は「返す」ボタンを押す。



とき ～朗読会「ことのはの時間」を開催します～

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和8年3月1日(日) 午後2時30分～(40分程度)
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です



図書館カレンダー 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

図書館カレンダー 2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

印は休館日


印はふくよみの日貸出2倍デー

2026年1月4日発行

編集:福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023
発行:福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

≪図書館ホームページ≫





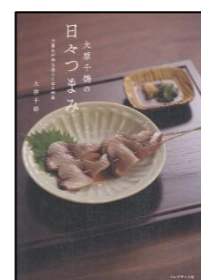
福島市西口ライブラリー広報

西口ライブ発信

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう!

2026年
1・2月号

新着本案内



『大原千鶴の日々つまみ』

大原 千鶴 著

プレジデント社(596オオハ)

さっと作れるものや、行事にちなんだ季節の肴などを、合わせるお酒と共に紹介しています。「この本は決してお酒を勧めるものではありません」と、後書きにあります。胡麻味噌漬、からし大根、チーズ餅…吞みたくなるものばかり。



『正しい休みの教科書』

片野 秀樹 著

ナツメ社(498カタノ)

体と心をしっかりと休ませるには、ただ眠るだけでなく、適度な運動や推し活、旅行などで活力を取り入れることも重要です。本書では、運動・娯楽・人との交流など休養のタイプを7つに分けて、その人に合った上手な休み方を提案します。



『小説のように家を建てる』

吉川 トリコ 著/光文社(914.6ヨシカ)

同じ場所にずっと住むのはうんざりすると思っていた小説家が、どうしたわけか家を建てることに。難航した土地や工務店探しを皮切りに、数多くの取捨選択を経て、家が完成するまでのあれこれを綴ったエッセイです。



『印象派に恋して』

佐藤 晃子 著

ナツメ社(723サトウ)

印象派とは19世紀フランスで起きた芸術運動のことです。明るい色彩を表現すべく絵の具を混ぜずに描くなど、従来と異なる技法を用いているのが特徴です。代表的な画家であるモネやファン・ゴッホの活躍や作品の魅力とともに解説します。



『いつかどこかにあった場所』

サラ・ピンスカー 著 市田 泉 訳

竹書房(933ピンス)

奇想と現実が入り混じる12篇からなる短編集です。宮廷魔術師に選ばれた少年を待ち受ける残酷な運命や、急なロックダウンに疑問を持ち抵抗する少女達など、違和感や喪失と向き合う人々の姿が描かれています。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

哲学史入門 4 斎藤 哲也 編 古田 徹也ほか 著／NHK出版(130テツガ4)	だから夜は明るい 君嶋 彼方 著／新潮社(Fキミジ)
秀吉と秀長 柴 裕之 著／NHK出版(289トヨト)	水は動かず芹の中 中島 京子 著／新潮社(Fナカジ)
武器としての非暴力 中見 真理 著／NHK出版(316ナカミ)	骨の子供 井上 宮 著／集英社(PFイノウ)
示談・調停・和解のやり方がわかる 神田 将 監修 生活と法律研究所 企画・編集／自由国民社(327ジダン)	旗本遊侠伝 岡本 さとる 著／双葉社(PFオカモ)
フリーランス&個人事業主のための確定申告 梶浦 潮 監修／技術評論社(345フリラ)	みんななにかに縋りたい 香坂 鮎 著／宝島社(PFコウサ)
ミサンガレッスン BOOK 日本ヴォーグ社(594ミサン)	雨上がりのビーフシチュー 古矢永 塔子 著／新潮社(PFコヤナ)
遠慮深いうたた寝 続 小川 洋子 著／河出書房新社(914. 6オガワ2)	警視庁の忍者 佐々木 裕一 著／小学館(PFササキ)
真珠配列 岩井 圭也 著／早川書房(Fイワイ)	見てはいけない 山口 恵以子 著／祥伝社(PFヤマグ)
火星の女王 小川 哲 著／早川書房(Fオガワ)	大奥お猫番 2 吉田 雄亮 著／実業之日本社(PFヨシダ2)
雷電 梶 よう子 著／KADOKAWA(Fカジヨ)	秘儀 上・下 マリアーナ・エンリケス 著 宮崎 真紀 訳／新潮社(P963エンリ)

作家と福(福) 転(転) 職(職)

教師や新聞記者など、作家になる前に別の職に就いたことのある文豪は数多くいます。その中でも、江戸川乱歩は短期間で何度も転職を繰り返した事で有名です。大学卒業後、大阪の貿易商社に就職しますが、住み込みで働くことに耐えられず、1年後にほぼ夜逃げの状態で退職してしまいます。その後も仕事が嫌になっては1年以内に辞めて放浪する生活を繰り返し、専業作家になるまでの8年間に14、5か所ほどの職場を転々としました。経験した職種も多種多様。造船所勤務やタイプライターの行商人、チャルメラを吹きながら支那そばの屋台を引いたり、2人の弟と古本屋を営んだりということもあったそうです。ちなみに、その時の古本屋の経験が後の代表作「D坂の殺人事件」に活かされています。

参考文献：『逃げまくった文豪たち』真山 知幸 著／実務教育出版（902マヤマ）
『乱歩打明け話』江戸川 乱歩 著 新保 博久・山前 譲 編／河出書房新社（P910. 2エドカ）

ライブラリアンの

展示★名作案内



『本売る日々』

青山 文平 著
文藝春秋(Fアオヤ)

江戸時代、本屋「松月堂」を営む平助は行商のため村々を渡り歩きます。その中で出会う人々の暮らしの中に様々な形で本が顔を出します。

江戸時代、まだまだ貴重品だった本事情も覗くことができる連作短編集です。

2話目の「鬼に喰われた女」オススメです。

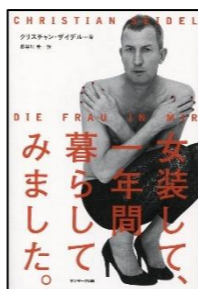


『東京の台所』

大平 一枝 文・写真
平凡社(383オオダ)

日常を映し出すありのままの台所を訪ね歩き、垣間見える人生模様取材した一冊。コンロ前がお気に入りという人や、料理はほとんどしないけれど台所道具は好きという人など、個性豊かな物語を持つ台所が登場します。

やかんやゴミ箱にも個性がでます。



『女装して、一年間暮らしてみました。』

クリスチャン・ザイデル 著 長谷川 圭 訳／サンマーク出版(946ザイデ)

女装に興味を持ち、1年間にわたって女性として生活する実験をした著者。男性からの視線に戸惑ったり、女子会で赤裸々に本音をぶつけあったりするうちに、彼の性別に対する考え方が大きく変わり始める。

どうして男がストッキングを履いちゃいけないんだ？ ※絶版です



『児童文学の中の家』

深井 せつ子 著
エクスナレッジ(909フカイ)

『メアリ・ポピンズ』でメアリが訪れたバンクス邸や『赤毛のアン』の主人公アンが住むグリーン・ゲイブルズなど、名作に登場する家を描き出します。建築様式や家具の特徴のほか、物語に反映された作者の生活の様子などを紹介します。

物語の主人公が住む家、気になりませんか？



『阿佐ヶ谷姉妹のほほんふたり暮らし』

阿佐ヶ谷姉妹 著
幻冬舎(779アサガ)

歌って踊るピンクドレスの芸人コンビ、阿佐ヶ谷姉妹による同居エッセイです。お気に入りの定食屋から部屋の陣地争いまで、クスッと笑える話を多数収録しています。特に、新居探しのドタバタの中、二人に起きた奇跡は必見です。

ほっこりする会話に癒されます。